



株式会社 キムラタン

第63回定時株主総会

2026年6月23日

2026年3月期 事業の経過及び成果

連結経営成績 売上高

再販事業の好調により前期比+44.1%の大幅増収を達成

	2025年3月期		2026年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,758	100.0%	2,533	100.0%	+774	+44.1%
売上総利益	726	41.3%	749	29.6%	+22	+3.1%
販管費	591	33.7%	657	26.0%	+66	+11.2%
営業利益	134	7.7%	91	3.6%	△43	△32.3%

連結経営成績 売上総利益

利益率は11.7ポイント低下となるが増収により前期比3.1%増加

	2025年3月期		2026年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,758	100.0%	2,533	100.0%	+774	+44.1%
売上総利益	726	41.3%	749	29.6%	+22	+3.1%
販管費	591	33.7%	657	26.0%	+66	+11.2%
営業利益	134	7.7%	91	3.6%	△43	△32.3%

連結経営成績 販売費・一般管理費

M&Aによる子会社経費の純増により販管費は11.2%増加

	2025年3月期		2026年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,758	100.0%	2,533	100.0%	+774	+44.1%
売上総利益	726	41.3%	749	29.6%	+22	+3.1%
販管費	591	33.7%	657	26.0%	+66	+11.2%
営業利益	134	7.7%	91	3.6%	△43	△32.3%

連結経営成績 営業損益

全社で増収ながら粗利益率の低下と経費増により営業利益は32.3%減少

	2025年3月期		2026年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,758	100.0%	2,533	100.0%	+774	+44.1%
売上総利益	726	41.3%	749	29.6%	+22	+3.1%
販管費	591	33.7%	657	26.0%	+66	+11.2%
営業利益	134	7.7%	91	3.6%	△43	△32.3%

連結経営成績 営業外損益・特別損益

支払利息等の増加を吸収できず経常赤字となり当期純損失が拡大

	2025年3月期		2026年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,758	100.0%	2,533	100.0%	+774	+44.1%
営業利益	134	7.7%	91	3.6%	△43	△32.3%
経常利益	10	0.6%	△57	△2.3%	△67	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△46	△2.6%	△98	△3.9%	△51	—

セグメント別の概況 / 不動産事業

再販事業が牽引し売上高は大幅増となるがセグメント利益は減益

売上高

子会社収益純増
再販事業の拡大



22億00百万円 + 829百万円

前期比 +60.5%

セグメント利益

物件管理コスト増加
本社費用の負担増



2億19百万円 △54百万円

前期比 △19.9%

セグメント別の概況 / アパレル事業

販売不調、粗利益率低下により赤字幅拡大

売上高

店舗数・ブランド数減
既存店・EC販売不調



2億93百万円 前期比△64百万円

前期比 △18.0%

セグメント利益

減収の影響
粗利益率△13.2pt



△1億23百万円 前期比△25百万円

セグメント別の概況 / ウェアラブル事業

導入施設数増加、熱中症対策デバイス販売好調も先行費用の影響で減益

売上高

135施設→173施設
「hamon band」販売



ウェアラブル前期比 +**32.4%**

セグメント利益

販売体制強化による
費用増の影響



△**4**百万円 前期比△3百万円

連結経営成績 / 総括

二桁増収ながら減益と厳しい状況を踏まえ全社収益構造の改善急務

	2025年3月期		2026年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,758	100.0%	2,533	100.0%	+774	+44.1%
営業利益	134	7.7%	91	3.6%	△43	△32.3%
経常利益	10	0.6%	△57	△2.3%	△67	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△46	△2.6%	△98	△3.9%	△51	—

連結財政状態

資本充実により自己資本比率16.7%に向上

総資産

98億46百万円

前期末比 △2億45百万円

販売用不動産、有形固定資産減少
現金・預金が増加

純資産

16億46百万円

前期末比 +5億14百万円

新株式発行 +613百万円
親会社株主に帰属する当期純損失

自己資本
比率

16.7%

前期末比 +5.5ポイント

自己資本比率 11.2%→16.7%

事業報告、連結計算書類等

事業報告

設備投資の状況～会計監査人の状況

7～13ページ

連結計算書類

14～15ページ

計算書類

18～19ページ

2027年3月期 事業計画の概要

2027年3月期:不動産事業計画

事業拡大の加速とコスト効率化により収益性の一層の向上を実現

01 再販事業：成長戦略の中核

- 主要な成長エンジンとして一層注力
- 事業拡大のスピードを加速

02 賃貸事業：収益力の最大化

- 物件ごとの収益性分析を強化し稼働率向上
- 管理コストの低減

03 物件販売：CF獲得と再投資

- 市場動向を的確に捉えたターゲティング
- 再投資による規模拡大と収益力の向上

04 成長投資：積極的な推進

- 収益性と成長性を厳格に評価した投資を推進
- 積極的な情報収集・最適な投資機会を追求

2027年3月期:アパレル事業計画

事業スリム化と収益構造転換による赤字縮小と差別化戦略の強化

構造改革完遂に向けた3つの柱

事業のスリム化

- ▶ ブランドの絞り込み
- ▶ 不採算店舗の撤退
- ▶ 固定費の圧縮と
効率的な運営体制の構築

EFFICIENCY

EC中心の運営体制へ転換

- ▶ EC中心のビジネスモデル
へ転換
- ▶ 運営効率改善と収益性の向上
- ▶ SNSを中心にブランド浸透

DIGITAL

独自ポジションの確立

- ▶ ターゲット層の明確化
- ▶ 他社にない強みを磨き
差別化戦略を強化
- ▶ ニッチ市場における
独自ポジションの確立

DIFFERENTIATION

2027年3月期:ウェアラブル事業計画

事業拡大の加速と新たな事業開発により社会課題の解決と事業成長を実現

成長拡大を加速させるための提携強化と領域拡大の戦略

ウェアラブル事業の拡大加速

- ▶ 主力ターゲットを明確化し、重点的な営業展開
- ▶ 導入施設・利用園児数の拡大を加速

SALES EXPANSION

業務提携先との連携強化

- ▶ ミツフジ株式会社との連携を深化

PARTNERSHIP

事業領域の拡大

- ▶ 高齢者の熱中症リスク軽減等新たな社会課題の解決に貢献
- ▶ 中長期的な成長に向けた事業開発を推進

NEW DOMAIN

2027年3月期:業績予想

成長事業への資源集中とアパレル赤字縮小により各段階利益の黒字化を目指す

	2026年3月期		2027年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	2,533	100.0%	2,950	100.0%	+416	+16.5%
営業利益	91	3.6%	260	8.8%	+168	+184.9%
経常利益	△57	△2.3%	100	3.4%	+157	—
当期純利益	△98	△3.9%	25	0.8%	+123	—



KIMURATAN